

第9回アフリカ開発会議に向けた今後の取組について

第9回アフリカ開発会議（TICAD9）は、**令和7（2025）年8月20日（水）～8月22日（金）**に横浜で開催されます。会議開催の成功に向けた直近及び今後の主な取組、会議開催期間中の本市に関連する取組予定について御報告します。

【TICAD9 に向けた取組の方向性の柱】

- 1 TICAD9 開催を通じた「選ばれる国際都市・横浜」の世界への発信
 - （1）新たなグリーン社会に向けた横浜市の取組を発信
 - （2）ビジネス機会の創出・拡大
 - （3）国際協力の一層の推進
 - （4）世界で活躍できる次世代の育成及び誰もが暮らしやすい社会の実現
- 2 会議成功に向けたホストシティとしての貢献

1 TICAD9 開催を通じた「選ばれる国際都市・横浜」の世界への発信

（1）新たなグリーン社会に向けた横浜市の取組を発信

本年5月発行のビジネス誌「African BUSINESS」では、市長がインタビューを受け、横浜のビジネス優位性やカーボンニュートラル実現に向けた取組を紹介しています。

また、8月発刊予定の「Japan Times」TICAD9 特集号でも、横浜市の新たなグリーン社会を目指す姿をPRする予定です。

（2）ビジネス機会の創出・拡大

アフリカの最新のビジネス情報やアフリカ市場への進出事例等を紹介する市内企業向けセミナーを、7月に開催します。

また、TICAD9 開催期間中、JETRO が主催する「Japan Fair」では、申込みのあった市内企業7社とともに「横浜ブース」を出展します。



TICAD7 のジャパン・フェア
「横浜ブース」の様子

（3）国際協力の一層の推進

「廃棄物管理」や「水道」「港湾」などの分野におけるアフリカへの技術協力を継続します。廃棄物分野では、テーマ別イベントとして「第4回アフリカのきれいな街プラットフォーム（ACCP）全体会合」を開催し、アフリカ諸国・都市の廃棄物管理に関する課題を共有して解決に向けた意見交換等を行います。

（4）世界で活躍できる次世代の育成及び誰もが暮らしやすい社会の実現

約100人が参加し、昨年11月末にスタートした「横浜からアフリカにつながる学生プロジェクト」は、5月末に最終セミナーを開催し、半年間のグループワークの成果を動画で発表しました。この動画は、多くの方にご覧いただけるようウェブサイトに掲載し、SNSなどで発信する予定です。

小中学校とのアフリカ交流を、今年度も引き続き実施します。

高校生の交流では、市立横浜商業高校とルワンダの教員養成校との間で、共に未来を考えるオンライン交流を5月に開催し、今後も交流の機会を創出します。

また、8月に JICA が実施する「アフリカにおける女性のビジネス・起業の推進」研修で男女共同参画や女性起業家支援に関する横浜市の取組を紹介します。



ルワンダとのオンライン交流

2 会議成功に向けたホストシティとしての貢献

- 安全で円滑な会議運営を支援するため、神奈川県警をはじめとする関係者との協議・調整を進めています。5月には、「関係機関連携テロ対策合同訓練」を県警及び海上保安庁等と連携して実施しました。8月には、会議期間中の交通量抑制について、横断幕や立て看板等にて御案内します。
- 市会をはじめ市内・県内の関係各界の皆様とより連携して取組を進めるため、昨年5月に設立した「第9回アフリカ開発会議 横浜開催推進協議会」の第2回総会を6月20日に開催します。
- 7月、8月を「アフリカ月間 2025」と称し、主催イベントを開催するほか、市内の多くの商業施設にご協力いただき、アフリカの食や文化に触れていただくキャンペーンを実施します。
- アフリカ各国の首脳をはじめとする TICAD9 に参加される方々へのおもてなしとして、「街の装飾」を行います。
- TICAD9 関連行事である「第5回野口英世アフリカ賞」に関しては、受賞者の方々を野口英世博士と縁のある横浜にお招きする予定です。



テロ対策合同訓練



TICAD7 時の街の装飾

【ご参考】令和6年度における主な取組実績

- 昨年8月の「TICAD 閣僚会合」や9月の「在京アフリカ外交団(ADC) 月例会」(いずれも都内)、12月の「日アフリカ官民経済フォーラム」(コートジボワール)などの場において、横浜市の各種取組や GREEN×EXPO 2027 を PR。
- アフリカの最新のビジネス情報やアフリカ市場への進出事例等を紹介する市内企業向けセミナーを計8回開催し、対面・オンライン含め延べ約570人が参加。
- 「廃棄物管理」や「水道」「港湾」などの分野で技術協力を継続し、アフリカ各国から延べ92人の研修員を受け入れ。水道分野では引き続きマラウイへ職員を派遣。
- 次世代育成として、小中学校とのアフリカ交流を延べ27回実施。また、横浜とアフリカの高校生がそれぞれ現地を訪問する交流を新たに実施。
- 市民の皆様向け機運醸成のイベント等
 - 11月「Live! 横浜 2024」への音楽ステージ及びブース出展の実施
 - 2月「AFRICA CULTURE & SPORTS EVENT」、「アフリカン ステージ」の開催
 - 2～3月「デジタルスタンプラリー」の実施
 - (そのほか、「よこはま生物多様性フェスティバル」(8月)、「新横浜パフォーマンス」(10月)「ワールドフェスタ」(10月)など各種イベントにブース出展)